

漁況海況予報事業（海洋観測調査） 漁況海況情報サービス事業

鹿熊 信一郎

1. 目的および内容

沖縄近海（沖縄島南部沿岸、沖縄島南西方の黒潮流域）の海洋観測を実施し海況データを収集することによって海況の現況を把握する。また、情報交換推進事業における漁況予測へ結びつけるために、海況・気象情報の蓄積を図ることを目的とする。

なお、漁況海況情報サービス事業は、黒潮域のより詳しい流れの観測実施とそのデータの迅速な処理と報告とで成っている。

1995年度（平成8年度）は、沖合定線を4回、沿岸定線を6回実施した。

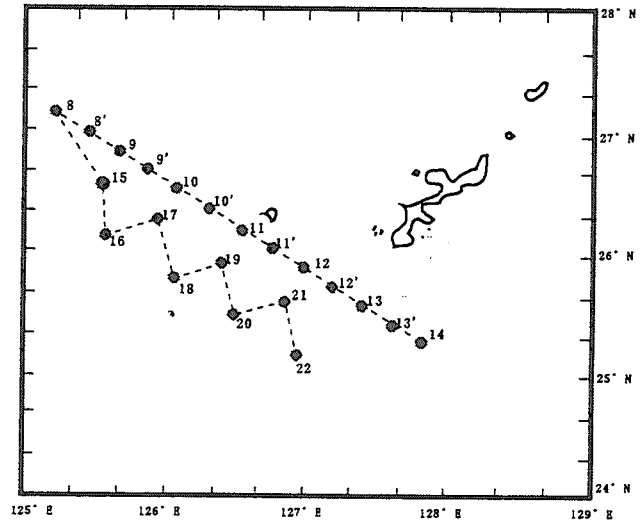


図1 沖合定線定点図（O）

2. 方法

沖縄島南西沖合定線（図1）および沖縄島南部沿岸定線（図2）の2定線で、調査船図南丸（176.09t）により観測を実施した。

観測項目は、水深800mまでのCTD観測、ADCPによる流況観測、サーモサリノグラフによる表層水温塩分連続観測および一般気象海象観測である。調査の実施状況については、表1、2に示した。

観測終了後、出来るだけ早い時期に観測結果（一般気象海象、表層流況図、層別水温・塩分図等）を関係漁業協同組合等へファクシミリで送付した。

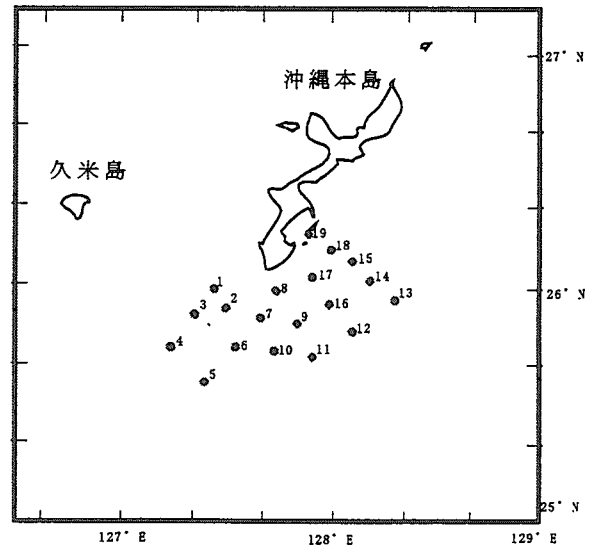


図2 沿岸定線定点図（P）

表1 沿岸定線実施状況

航次	実施年月	調査員	調査点数
1	1996年 4月15日～18日	鹿熊信一郎	19
2	1996年 6月10日～13日	鹿熊信一郎	19
3	1996年 8月 8日～11日	鹿熊信一郎	19
4	1996年 10月 8日～ 9日	鹿熊信一郎	19
5	1996年 12月 2日～ 3日	鹿熊信一郎	19
6	1997年 2月24日～27日	鹿熊信一郎	19

表2 沖合定線実施状況

航次	実施年月	調査員	調査点数
1	1996年 4月15日～17日	鹿熊信一郎	21
2	1996年 6月10日～12日	鹿熊信一郎	21
3	1996年 8月 8日～10日	鹿熊信一郎	21
4	1997年 2月24日～26日	鹿熊信一郎	21

3. 結果

沖縄島南部海域での観測結果からP-8～P-9、P-14～P-17の6点の平均値を求め、沿岸定線代表点とした。代表点における水温の季節変化と平常偏差の季節変化を図3、図4に示した。沿岸定線及び沖合定線の表面流況観測結果を図5に示した。

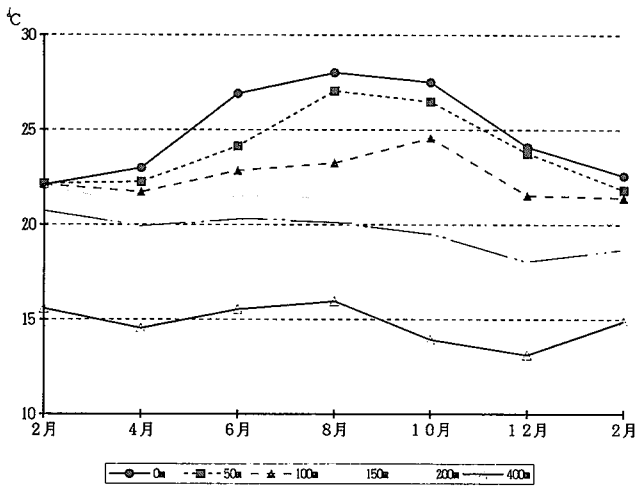


図3 沿岸代表点における水温季節変化

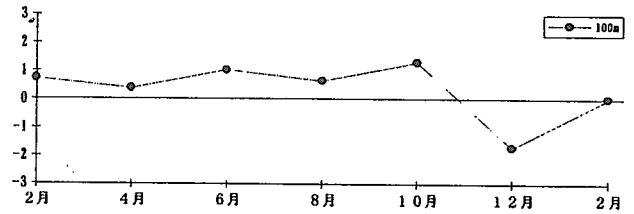
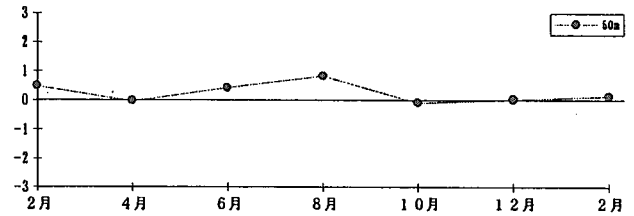
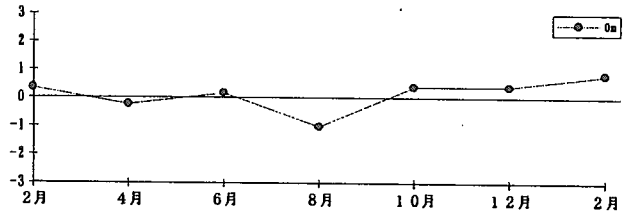


図4 沿岸定線代表点における水温平常偏差の季節変化

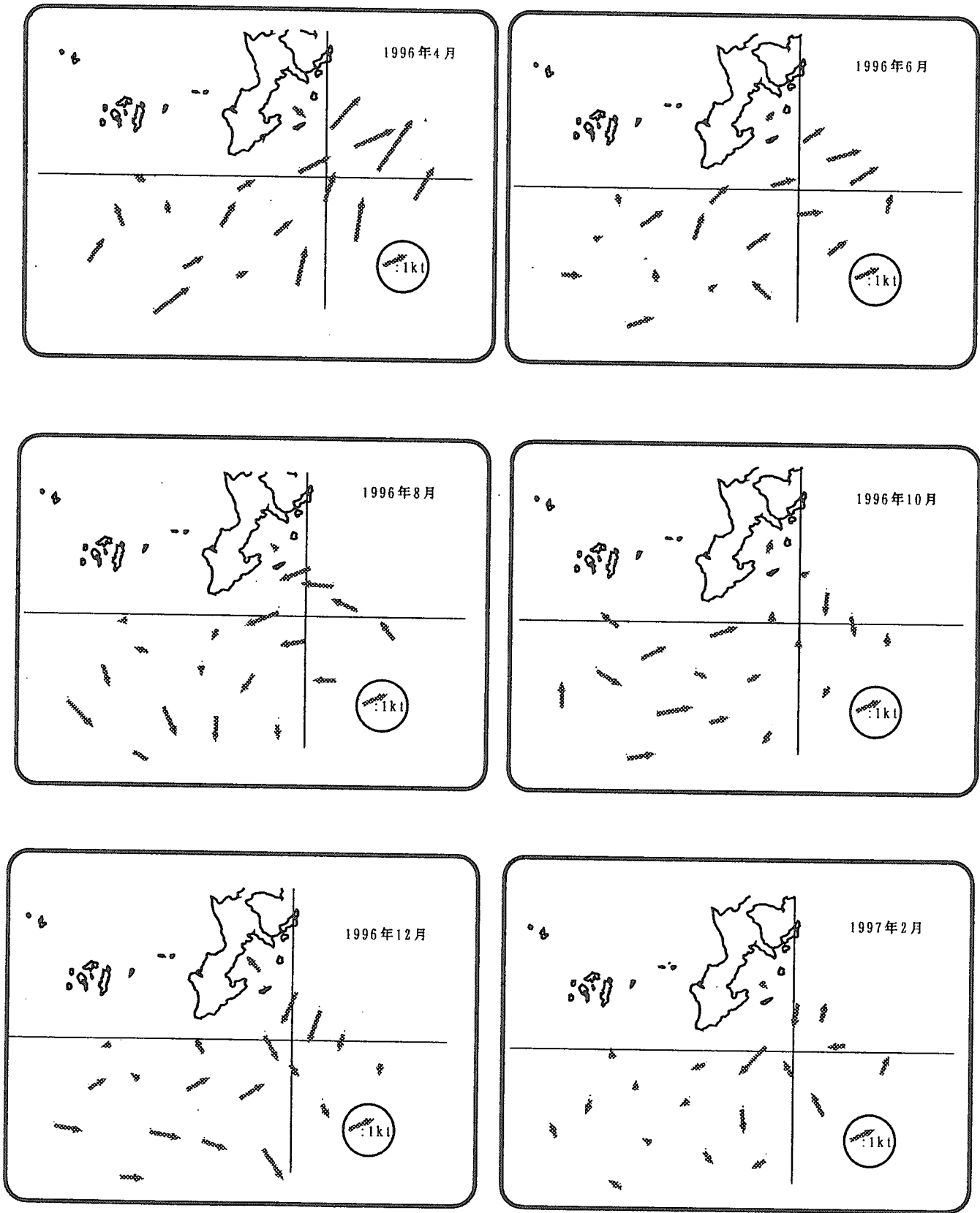


図5 沖縄島南部及び南西部の表層流況

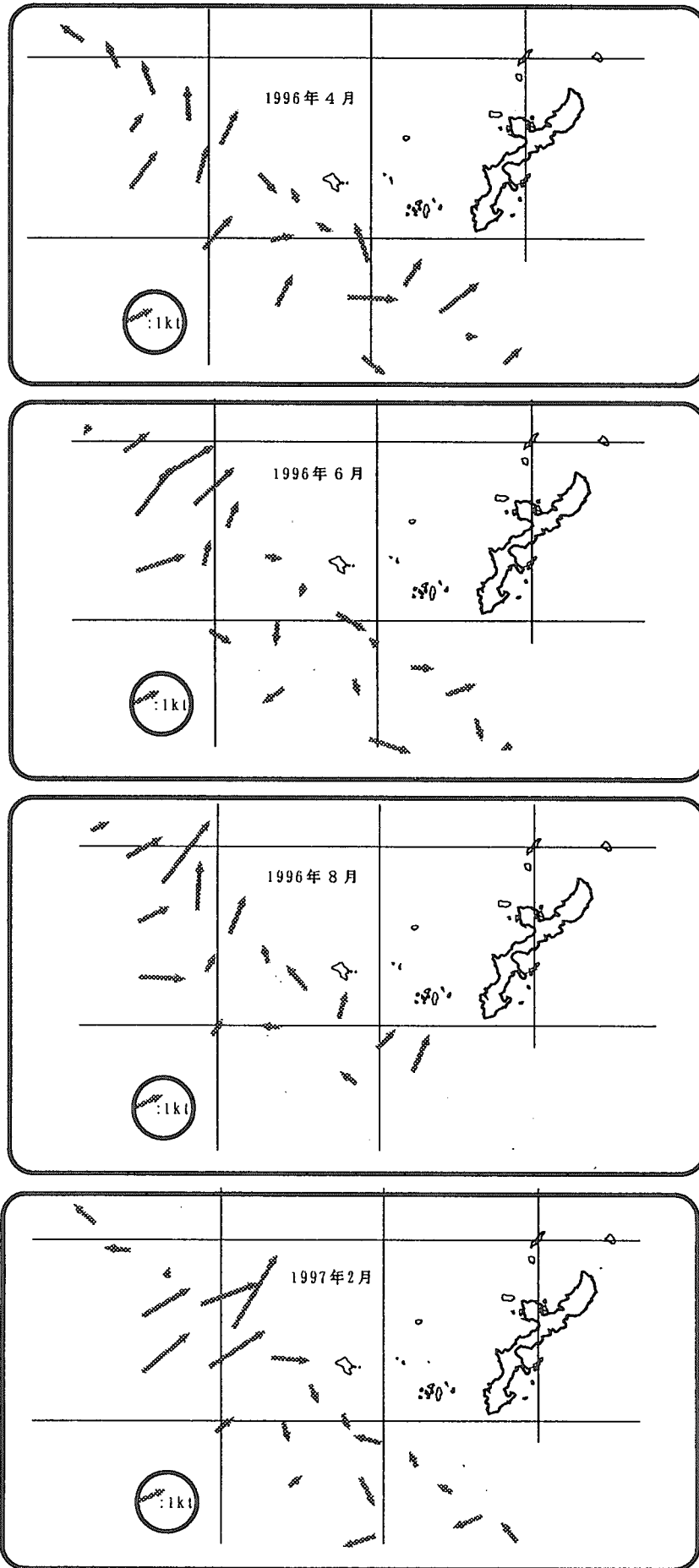


図5 沖縄島南部及び南西部の表層流況